

令和3年度

健康保険組合 予算編成状況について －予算早期集計結果の概要－

本概要は、令和3年度予算編成状況について、本会へ報告のあった1,330組合の数値をもとに、令和3年4月1日時点に存在する1,387組合の財政状況を推計したものである（※なお、詳細については巻末「資料編」を参照のこと）。

令和3年4月22日
健康保険組合連合会

令和3年度【予算】経常収支の状況

- 令和3年度予算の経常収支は、①経常収入：8兆1,181億円（対前年度比▲2.7%）、②経常支出：8兆6,279億円（同0.6%）で、収支差引額（①-②）は、▲5,098億円の大幅な赤字となる見通しとなった。
- 赤字の主な要因は、保険料収入2,167億円、対前年度比▲2.6%の減少に加え、拠出金1,289億円、対前年度比3.6%の増加となったことによる。とくに前期高齢者納付金の伸びが著しく、対前年度比6.5%の1,007億円の増加となっている。
- なお、保険給付費は対前年度比▲1.5%の654億円減を見込み、保健事業費は前年度並みの4,409億円（同0.3%）を計上した。

主な項目	令和3年度【予算】	伸び率 (対前年度予算比)	増減額	令和2年度【予算】
経常収入（①）	8兆1,181億円	▲2.7%	▲2,242億円	8兆3,423億円
保険料収入	8兆60億円	▲2.6%	▲2,167億円	8兆2,227億円
経常支出（②）	8兆6,279億円	0.6%	550億円	8兆5,729億円
保険給付費	4兆2,980億円	▲1.5%	▲654億円	4兆3,634億円
拠出金計	3兆6,627億円	3.6%	1,289億円	3兆5,338億円
後期高齢者支援金	2兆158億円	1.4%	287億円	1兆9,871億円
前期高齢者納付金	1兆6,467億円	6.5%	1,007億円	1兆5,460億円
退職者給付拠出金	1億円	▲85.7%	▲6億円	7億円
保健事業費	4,409億円	0.3%	15億円	4,394億円
経常収支差引額（①-②）	▲5,098億円		▲2,792億円	▲2,306億円

令和3年度【予算】加入者数、標準報酬月額・標準賞与額、保険料率一等

- 組合数は、前年度に比べ2組合減の1,387組合となり、被保険者数は3万2,394人減の1,651万6,963人（対前年度比▲0.2%）、被扶養者数は24万2,183人減（同▲1.9%）の1,223万5,433人となっている。
- 平均標準報酬月額は、対前年度比4,744円減の37万2,794円（対前年度比▲1.3%）、平均標準賞与額は同8万1,361円減の104万1,513円（同▲7.2%）となっている。

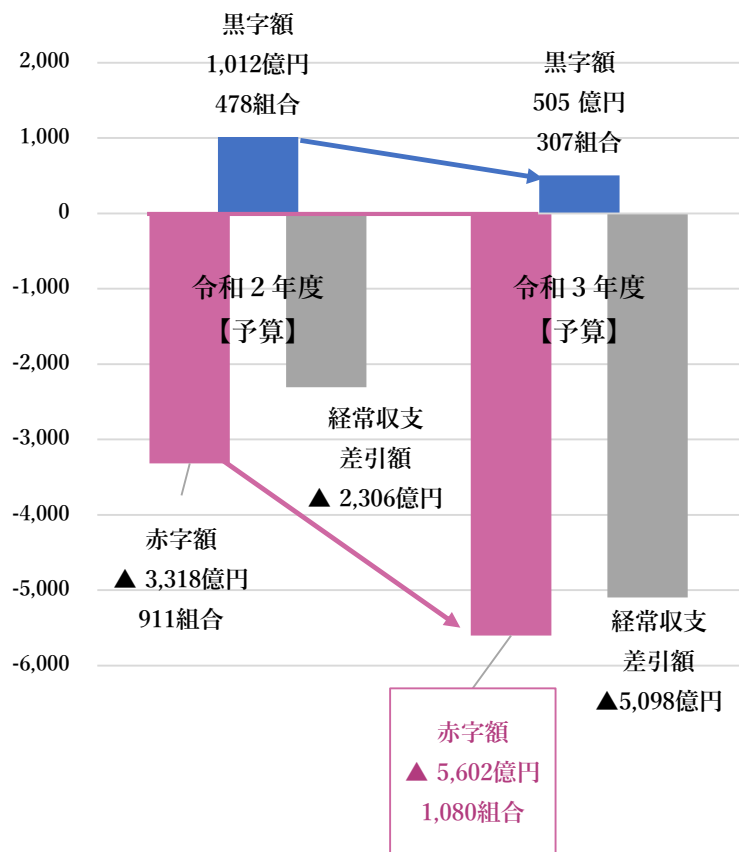
	令和3年度【予算】	伸び率 (対前年度予算比)	増減数	令和2年度【予算】
組合数	1,387	-	▲2	1,389
被保険者数	1,651万6,963人	▲0.2%	▲3万2,394人	1,654万9,357人
被扶養者数	1,223万5,433人	▲1.9%	▲24万2,183人	1,247万7,616人
扶養率	0.74人	▲1.3%	▲0.01人	0.75人
平均標準報酬月額	37万2,794円	▲1.3%	▲4,744円	37万7,538円
平均標準賞与額	104万1,513円	▲7.2%	▲8万1,361円	112万2,874円
平均保険料率	9.23%	0.1%	0.01p	9.22%
特定保険料率	4.10%	6.2%	0.24p	3.86%
前期高齢者数	96万9,711人	1.4%	1万3,366人	95万6,345人
前期高齢者加入率	3.45%	3.3%	0.11p	3.34%
前期高齢者1人当たり医療給付費	37万866円	3.9%	1万3,836円	35万7,030円

令和3年度【予算】経常収支差引額の状況

●赤字額が2,792億円増加した結果、赤字組合は、前年度に比べ169組合増加して1,080組合（構成比：77.9%）となり、赤字組合の赤字総額は前年度に比べ2,284億円増加し、▲5,602億円となる見通し。

●一方、黒字組合は、前年度に比べ171組合減少して307組合（構成比：22.1%）となり、黒字総額は507億円減の505億円となっている。

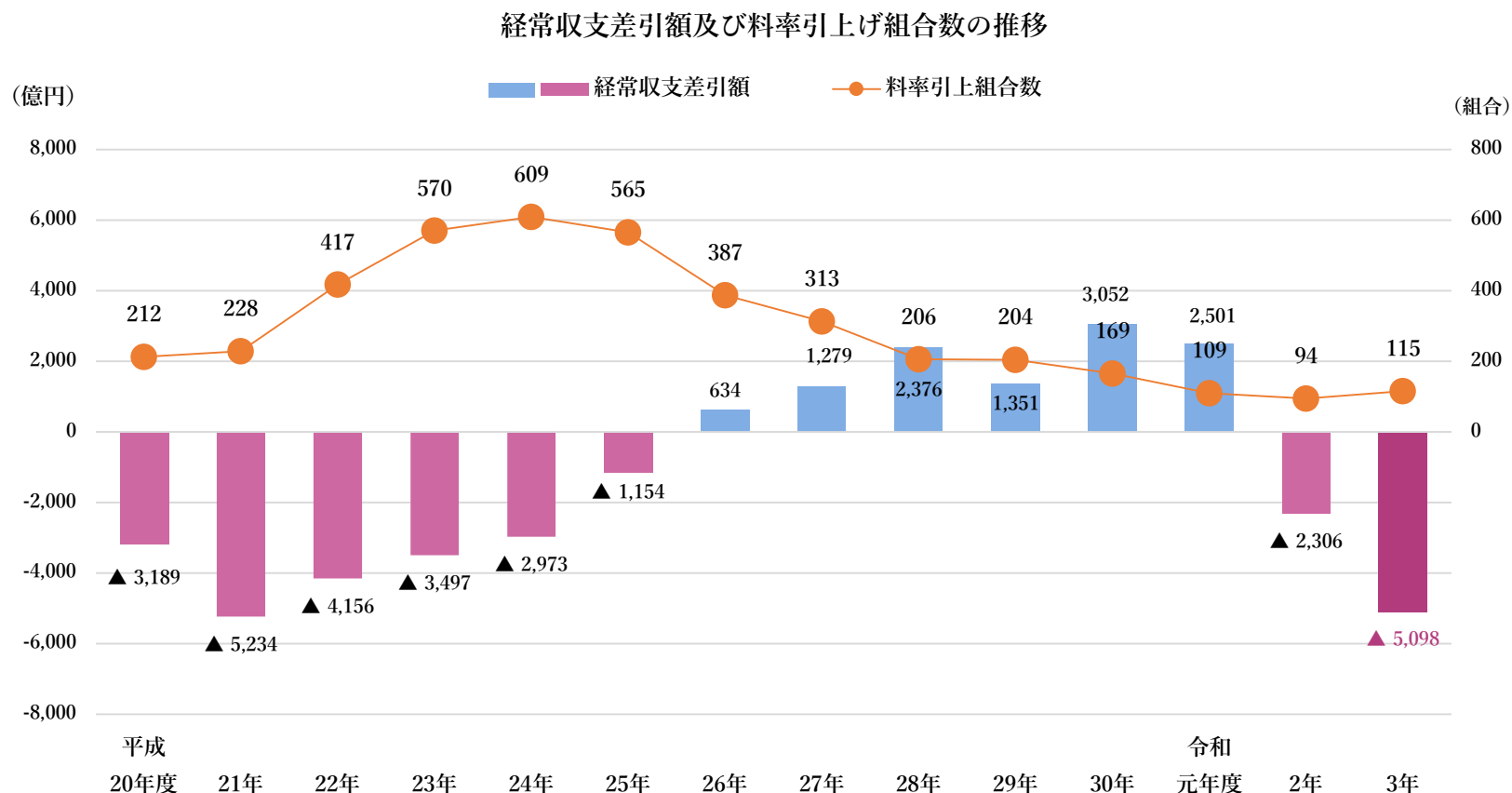
経常収支差引額の状況



	令和3年度【予算】	令和2年度【予算】	対前年度差
経常収入 (①)	8兆1,181億円	8兆3,423億円	▲2,242億円
経常支出 (②)	8兆6,279億円	8兆5,729億円	550億円
経常収支差 (①-②)	▲5,098億円	▲2,306億円	▲2,792億円

赤字組合の赤字総額	▲5,602億円	▲3,318億円	▲2,284億円
赤字組合数	1,080組合	911組合	169組合
赤字組合の割合	77.9%	65.6%	12.3p
黒字組合の黒字総額	505億円	1,012億円	▲507億円
黒字組合数	307組合	478組合	▲171組合
黒字組合の割合	22.1%	34.4%	▲12.3p

【参考】 経常収支差引額及び料率引上げ組合数の推移



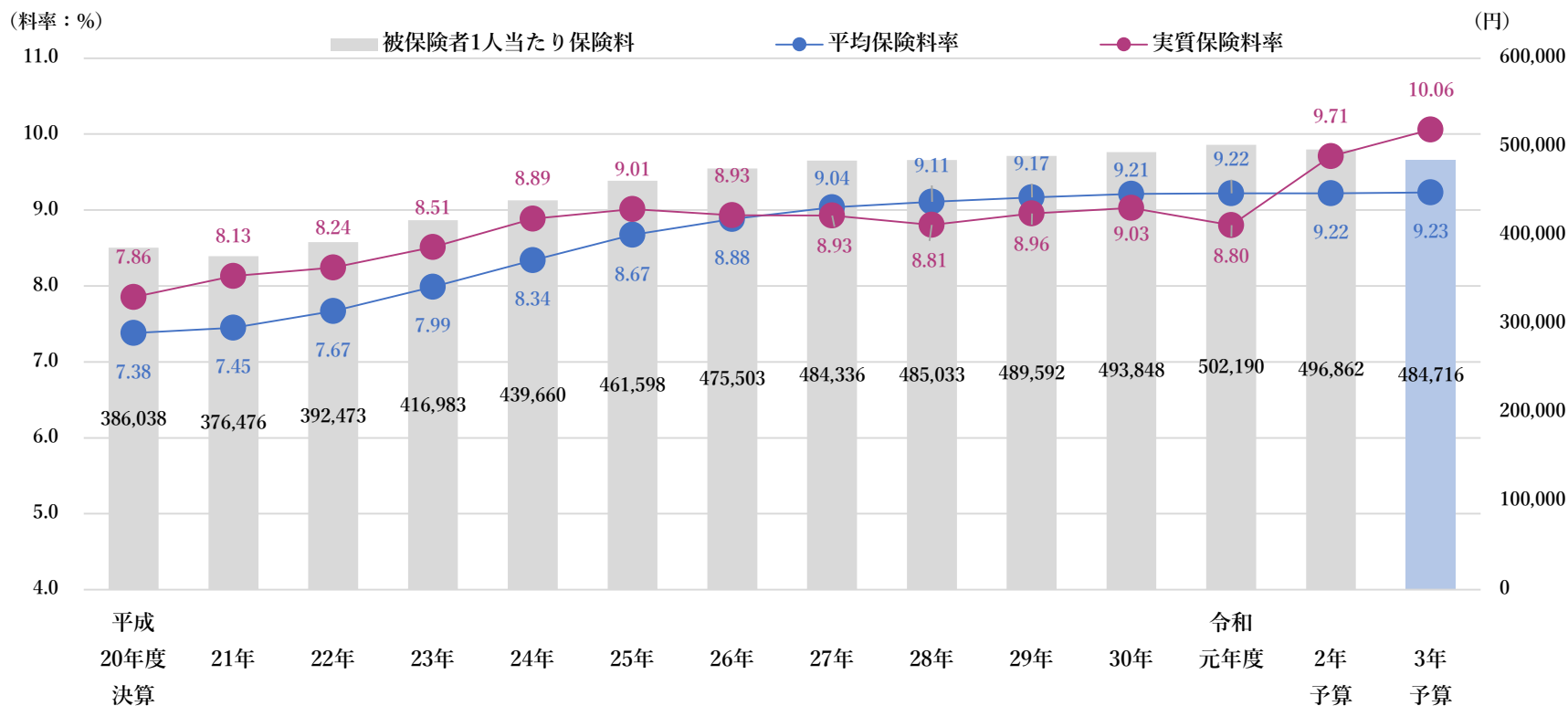
注 1) 各年度の数値は、平成20年～30年度：決算、令和元年度：決算見込、2年度：予算、3年度：予算【早期集計】一の値である（以下、同じ）。

注 2) 令和3年度は、データ報告組合（1,330組合）に基づく数値である。

令和3年度【予算】保険料率（平均・実質）及び料率設定状況

- 令和3年度予算の平均保険料率（調整保険料率を含む）は9.23%で、被保険者1人当たり保険料負担額は前年度に比べ12,146円減の48万4,716円となっている。なお、料率を引き上げた組合は115組合である。
- また、収支均衡に必要な財源を賄うための実質保険料率（調整保険料率を含む）は、平均保険料率を0.83ポイント上回る、過去最高の10.06%となる見通し。
- 協会けんぽの平均保険料率（10.0%）以上の組合は297組合（22.3%：データ報告1,330組合ベース）となっている。

被保険者1人当たり保険料及び保険料率（平均・実質）の推移



注1）各年度の数値は、平成20年～30年度：決算、令和元年度：決算見込、2年度：予算、3年度：予算【早期集計】－の値である（以下、同じ）。

注2）令和3年度は、データ報告組合（1,330組合）に基づく数値である。

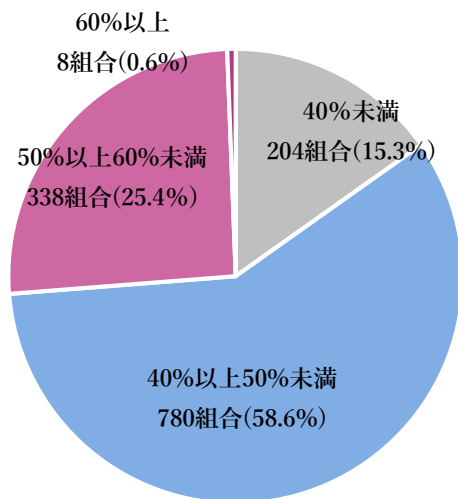
注3）保険料率（平均・実質）は各組合の保険料率を単純平均したものである。なお、料率には調整保険料率を含む。

令和3年度【予算】高齢者拠出金及び義務的経費に占める負担割合

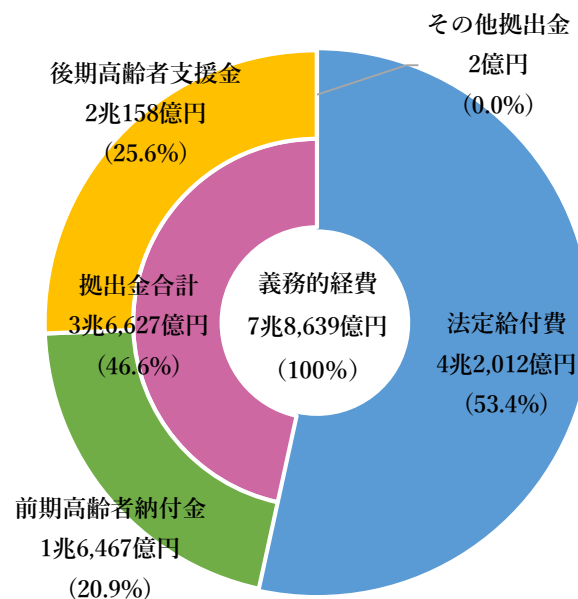
- 令和3年度予算の拠出金総額は3兆6,627億円で、前年度比3.6%増加となっている。内訳をみると、①後期高齢者支援金：2兆158億円（同1.4%）、②前期高齢者納付金：1兆6,467億円（同6.5%）、③退職者給付拠出金：1億円（▲85.7%）となっている。
- この結果、義務的経費に占める拠出金負担割合は46.6%となり、50%以上を占める組合は全体の26.0%（集計対象1,330組合うち、346組合）となる。

	令和3年度予算	伸び率	令和2年度予算
後期高齢者支援金	2兆158億円	1.4%	1兆9,871億円
前期高齢者納付金	1兆6,467億円	6.5%	1兆5,460億円
退職者給付拠出金	1億円	▲85.7%	7億円
その他（日雇拠出金・病床転換支援金）	1億円	87.3%	0億円
拠出金総額	3兆6,627億円	3.6%	3兆5,338億円

義務的経費に占める拠出金負担割合別組合数



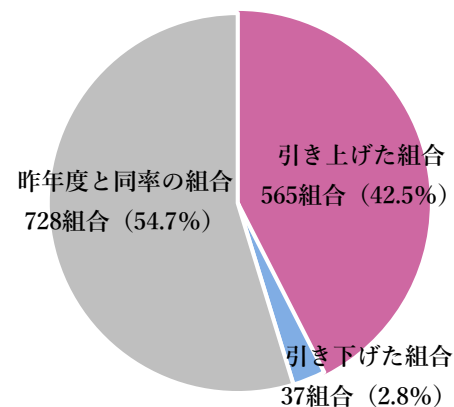
義務的経費の構成金額及び構成割合
（法定給付費及び各種拠出金）



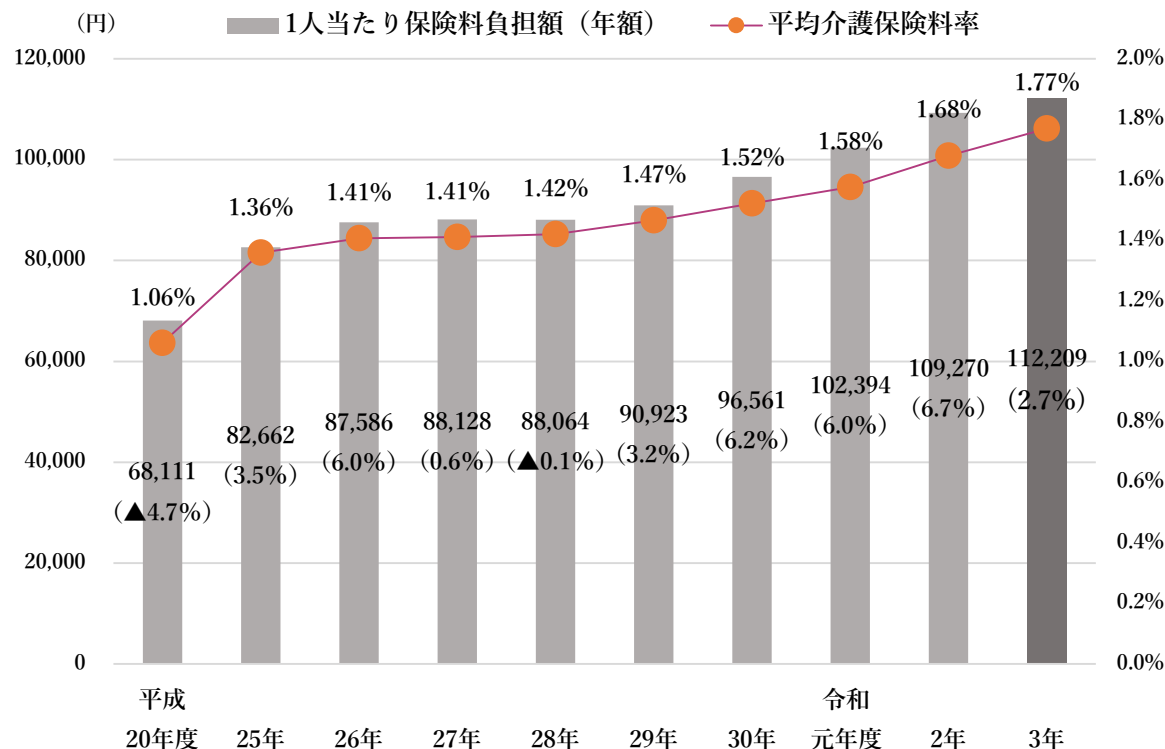
令和3年度【予算】介護保険料率（平均）及び料率設定状況

- 令和3年度予算の平均介護保険料率は、対前年度比0.09ポイント増の1.77%となり、1人当たり保険料負担額（年額）は11万2,209円で、2,939円の増加（同2.7%）となっている。
- 介護保険料率を上げた組合は全体の42.5%（集計対象1,330組合うち、565組合）を占め、全体の5割を占める組合（同664組合）が設定料率が1.8%以上となっている。

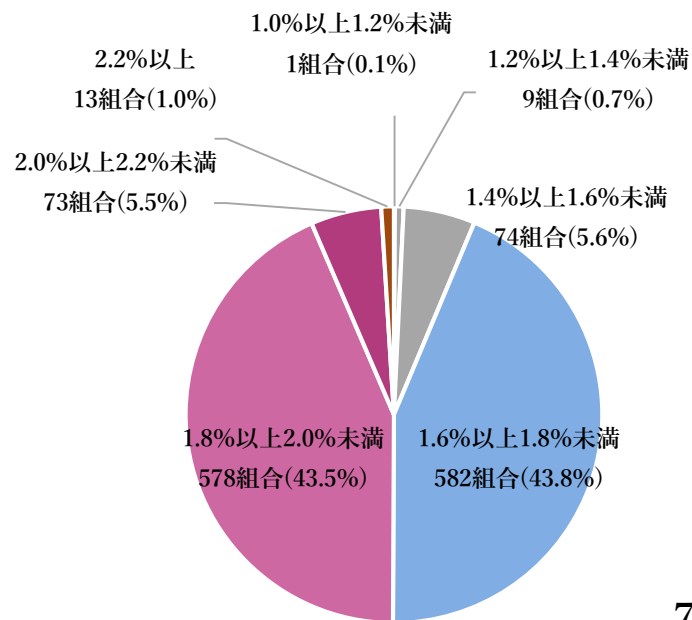
料率設定状況別組合数及び構成割合



平均介護保険料率及び1人当たり保険料負担額

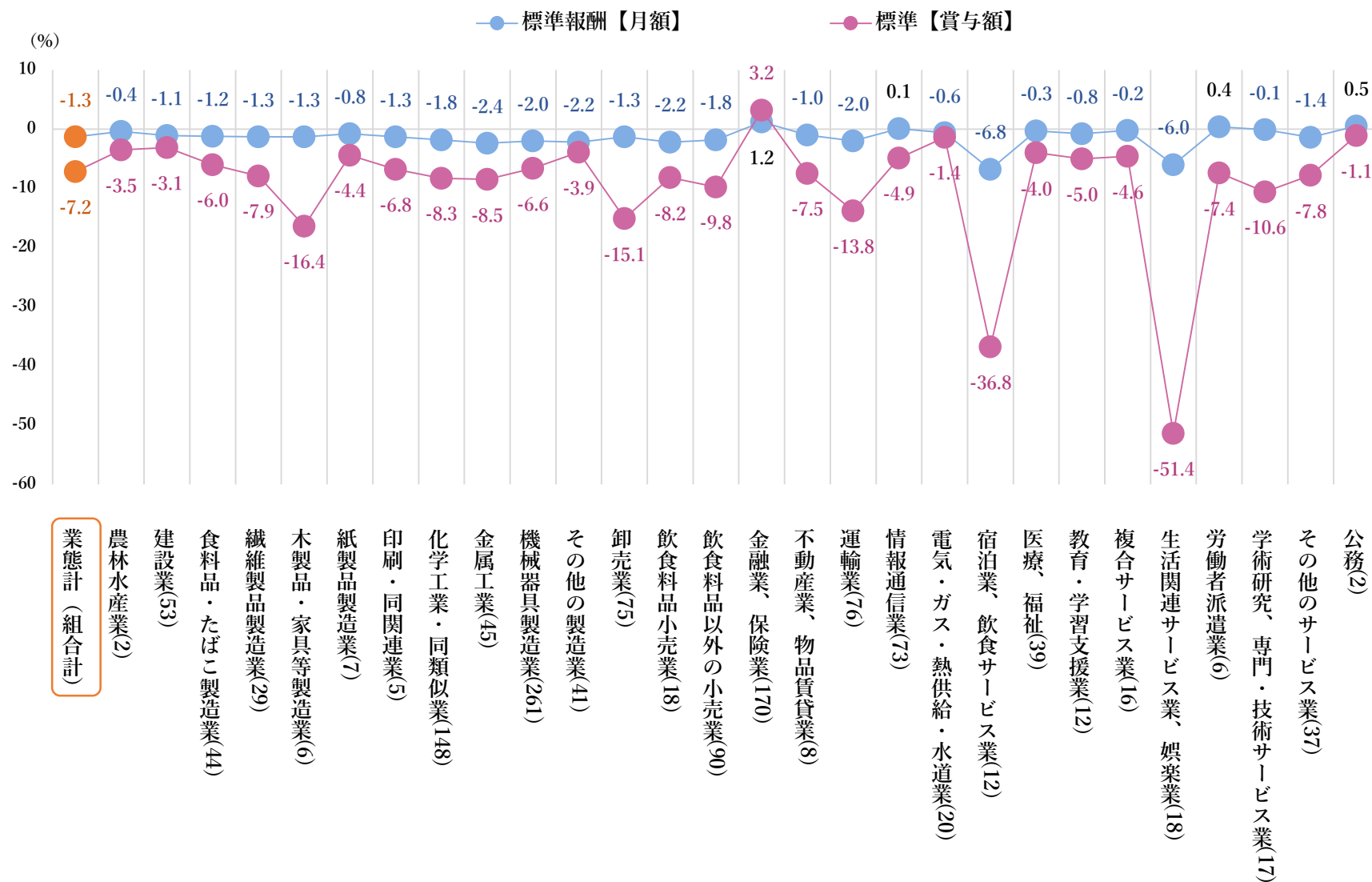


料率別組合数及び構成割合



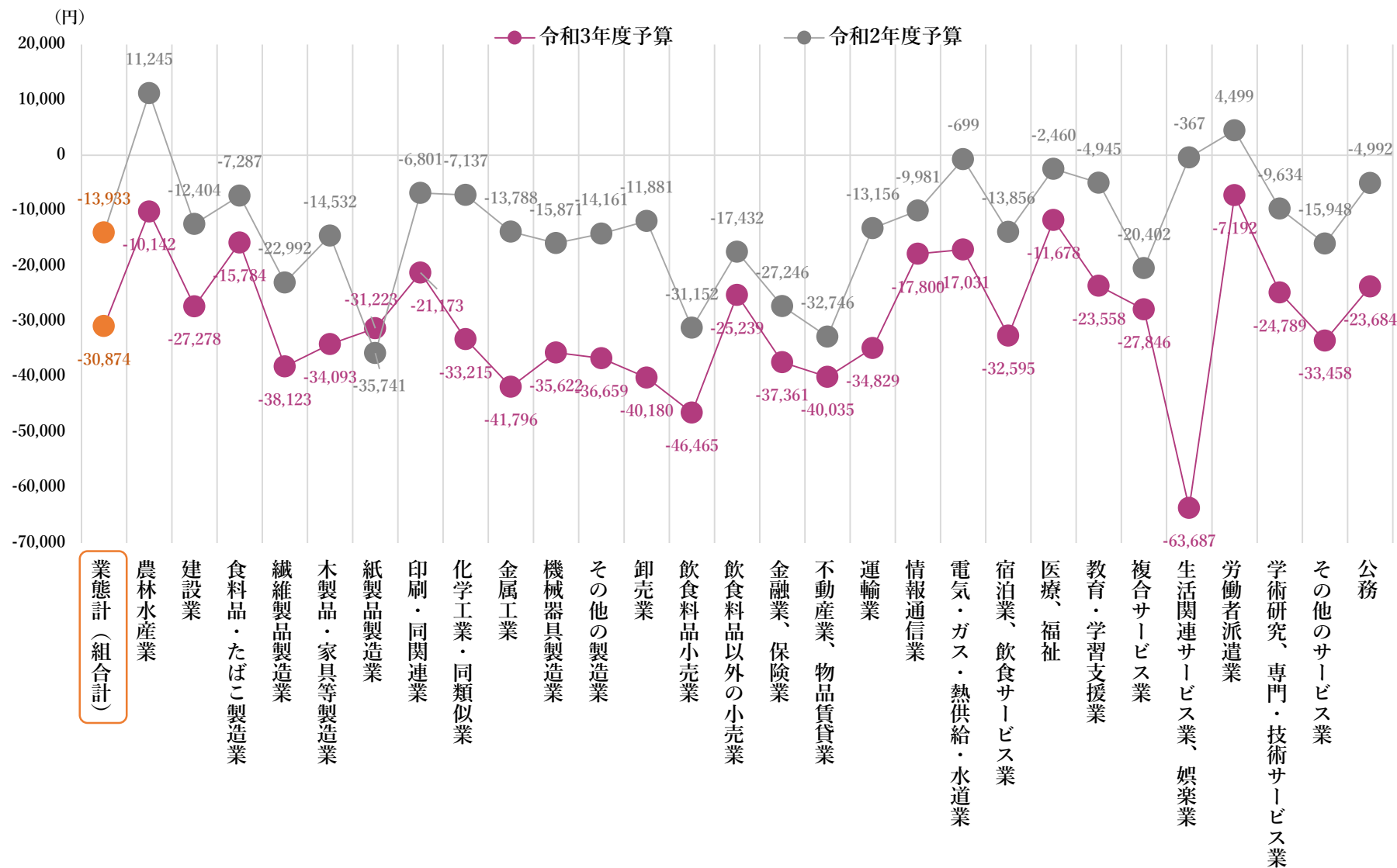
参考①：令和3年度【予算】業態別 標準報酬月額・標準賞与額の伸び率

業態別 標準報酬【月額】及び標準【賞与額】の対令和2年度予算比伸び率（単位：%）



参考②：令和3年度【予算】業態別 被保険者1人当たり経常収支差額

業態別被保険者1人当たり経常収支差額（単位：円）



参考③：令和3年度【予算】業態別 平均及び実質保険料率

業態別【平均】及び【実質】保険料率（単位：％）

